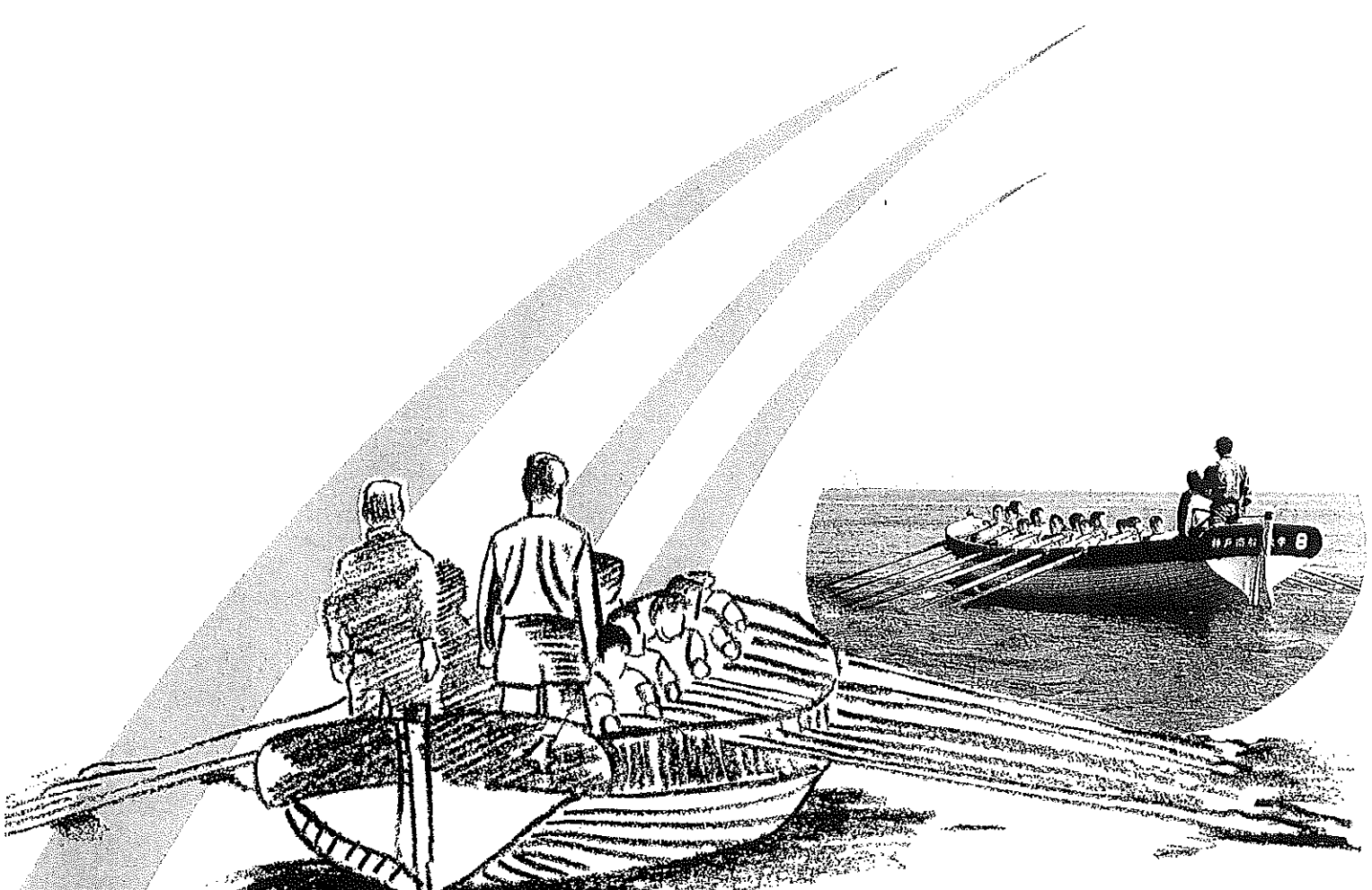




第42回 全日本カッター 競技大会

日時／平成10年5月16日(土)
AM.9:00~PM.3:30

場所／神戸港摩耶埠頭南側前面水域

主 催／全日本カッター連盟

担当校／神戸商船大学

共 催／運輸省海技大学校

後 援／神戸市港湾整備局・(社)神戸港振興協会

第42回 全日本カッター競技大会

日 時 平成10年5月16日（土） 9：00～15：30（雨天決行）

会 場 神戸港 摩耶埠頭 南側前面水域

主 催 全日本カッター連盟

担 当 校 神戸商船大学

共 催 運輸省海技大学校

後 援 神戸市港湾整備局 (社)神戸港振興協会

参加大学 (五十音順)	海 技 大 学 校	東 京 商 船 大 学
	海 上 保 安 大 学 校	東 京 水 産 大 学
	鹿 児 島 大 学	長 崎 大 学
	神 奈 川 歯 科 大 学	日 本 大 学 校
	神 戸 商 船 大 学	防 衛 大 学 校
	水 産 大 学 校	三 重 大 学
	東 海 大 学	

行事日程

－ 主 将 会 議 －

日 時 5月15日（金） 15：00～17：00

場 所 大学会館会議室

出席者 各校主将・主務

議 事 各種抽選・審判規則確認・予算・その他

－ 競 技 会 －

日 時 5月16日（土） 9：00～15：30

場 所 神戸港 摩耶埠頭 南側前面水域

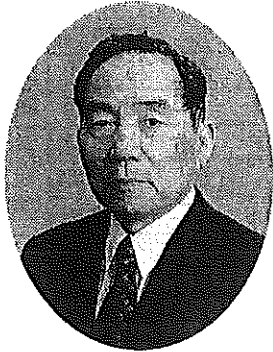
－ 連 盟 会 議 －

日 時 5月16日（土） 大会終了後
15：45～16：30

出席者 各校顧問・主将・主務

議 事 連盟規約審議及び決定・大会反省
次期担当校決定・その他

第42回 全日本カッター 競技大会を迎えて



神戸商船大学長 原 潔

六甲山麓の山並に新緑若葉が映え、海の香りにも初夏を感じる季節となりました。

この度、第42回全日本カッター競技大会が、海事に志向する全国の大学及び大学校13校の学生を迎え、ここ神戸港摩耶埠頭前面海域で開催されることは、誠に喜ばしい限りであります。さらに本年は、明石海峡大橋の開通とともに目の前の21世紀へ羽ばたく飛躍の年に当たり、本競技会の開催を担当することができましたことは大きな喜びであるとともに、心から選手諸君を歓迎いたします。

カッターレースは、海上における漕艇技術に基づいた漕力を競い合う団体競技であります。クルー一人一人の漕力が、充実した気力と体力を必要とすることは言うまでもなく、艇指揮を中心とした艇全体の優れたチームワークのもとで一丸となり、行動することが要求されるものであり、まさしく海の若人の祭典としてふさわしいものと考えます。諸君には、将来の社会におけるリーダーとしての活躍が期待され、すべての分野で、不撓不屈の精神と協調協力の心構え、そして社会の変化に適切に対応する指導能力が要求されることでしょう。カッターは、このような資質と特性を涵養し、最適にしてかつ有意義な訓練として、広く社会、企業等の職員教育にも実施されているところであります。

各大学・大学校の選手諸君は、日頃鍛錬された漕艇技術と敢闘精神を遺憾なく発揮され、さらに海の若人らしくシーマンシップに燃えた好レースを展開され、大会を通じて大いに奮闘され更なる友好が深まることを期待いたします。

終わりに、本大会の開催にあたり、ご後援いただきました神戸市港湾整備局、神戸港振興協会をはじめ、共催の運輸省海技大学校、そしてご協力、ご支援を賜りました関係各位に深甚な謝意を表します。

大会役員

会長	全日本カッター連盟会長	宮崎芳夫
副会長	神戸商船大学学長	原木和鈴石
	海技大学校校長	崎村氣木田
運営委員長	神戸商船大学学生部長	正博三廣
審判委員長	神戸商船大学	夫潔次嗣郎史
審判長	神戸商船大学	
顧問		
海技大学校	浅木健司	海上保安大学校
鹿児島大学	松野保久	神奈川歯科大学
水産大学校	下川伸也	東海大学
東京商船大学	庄司邦昭	東京水産大学
長崎大学	高山久明	日本大学
防衛大学校	高昌子隆廣	三重大学
神戸商船大学	古莊雅生	
		宮尾徳行
		湯山房元
		花原栗口
		柿平関
		秀夫

実行委員

実行委員長	機関	4	恵宣裕
総務	動力	4	益田邦和
	動力	2	山本和範
宿泊	機関	2	甲功二郎
競技	海洋	3	北ノ園真士
記録	航海	3	佐藤毅憲
配艇	航海	4	杉谷昌栄
	航海	2	黒田剛史
会場	航海	3	前田力平
	航海	2	林周孝
進行	航海	2	古賀充裕
	動力	2	中井裕丈
	機関	2	伊達祐史
	海洋	2	藤井泰人
	海洋	3	西山規行
	航海	2	中村悦史

クルー名簿 (男子)

海技大学校

顧問：浅木 健 司

	氏 名	学 科・学 年	身 長	体 重	出 身 校	出身地
主 将	阿 部 世志人	航 海 ・ 1	1 7 1	6 1	宮古海員学校	宮 城
主 務	小 林 隆 伸	航 海 ・ 1	1 5 7	6 1	宮古海員学校	岩 手
艇指揮	菅 原 豊	航 海 ・ 1	1 7 4	6 8	宮古海員学校	岩 手
艇 長	藤 井 一	航 海 ・ 1	1 6 6	6 8	唐津海員学校	岡 山
1	阿 部 世志人	航 海 ・ 1	1 7 1	6 1	宮古海員学校	宮 城
2	小 林 隆 伸	航 海 ・ 1	1 5 7	6 1	宮古海員学校	岩 手
3	中 本 幸 夫	航 海 ・ 1	1 7 0	5 7	口之津海員学校	長 崎
4	大 矢 公 将	機 関 ・ 1	1 7 8	6 7	館山海員学校	神奈川
5	前 川 剛	機 関 ・ 1	1 7 7	6 0	沖縄海員学校	沖 縄
6	稲 富 章	航 海 ・ 1	1 7 5	6 7	唐津海員学校	福 岡
7	小 川 真 一	航 海 ・ 1	1 7 0	7 0	口之津海員学校	長 崎
8	菊 池 洋 勝	機 関 ・ 1	1 7 2	5 2	小樽海員学校	北海道
9	北 村 陵 生	機 関 ・ 1	1 7 3	6 3	小樽海員学校	北海道
10	吉 田 大 朗	航 海 ・ 1	1 7 4	6 0	館山海員学校	神奈川
11	圓 山 章 芳	航 海 ・ 1	1 7 2	6 3	館山海員学校	兵 庫
12	長 坂 歩	航 海 ・ 1	1 8 2	7 8	館山海員学校	神奈川
補 欠						
補 欠						
補 欠						
補 欠						

平均 172.2 63.9

海上保安大学校

顧問：宮 尾 努

	氏 名	学 科・学 年	身 長	体 重	出 身 校	出身地
主 将	鎌 田 忍	航 海 ・ 4	1 7 2	6 8	都 城 西	宮 崎
主 務	高 橋 大 亮	機 関 ・ 3	1 7 4	6 3	札 幌 北	北海道
艇指揮	三 好 弘 幸	航 海 ・ 4	1 6 1	6 0	上 郷	神奈川
艇 長	鎌 田 忍	航 海 ・ 4	1 7 2	6 8	都 城 西	宮 崎
1	高 橋 大 亮	機 関 ・ 3	1 7 4	6 3	札 幌 北	北海道
2	立 石 良 介	機 関 ・ 3	1 6 9	6 8	奈 良	奈 良
3	村 山 謙 治	通 信 ・ 4	1 7 0	6 5	鞍 手	福 岡
4	村 田 一 久	機 関 ・ 3	1 7 2	7 0	海 田	広 島
5	今 野 知 行		1 7 0	6 5	古 川 商	宮 城
6	藤 井 大 介	航 海 ・ 3	1 7 4	6 8	福 岡	福 岡
7	竹 内 伸 孝		1 7 3	6 8	旭 ケ 丘	北海道
8	平 田 雄 一	機 関 ・ 3	1 7 9	7 0	舟 入	広 島
9	岡 田 洋 平	航 海 ・ 4	1 7 4	7 1	徳 島 城 東	徳 島
10	松 森 貴 志		1 8 1	7 0	熊 谷 西	埼 玉
11	江 畑 豊	航 海 ・ 3	1 6 7	6 5	船 川 水 産	秋 田
12	酒 井 敬	通 信 ・ 3	1 6 3	5 8	函 館 ラ サ ール	北海道
補 欠						
補 欠						
補 欠						
補 欠						

平均 171.4 66.4

鹿 児 島 大 学

顧問：松 野 保 久

	氏 名	学 科・学 年	身 長	体 重	出 身 校	出身地
主 将	中 島 兼太郎	海洋資源増殖・3	165	59	宇和島南	愛媛
主 務	村 上 俊 介	水 産・2	172	60	尾 道 東	広島
艇指揮	山 本 鉄 平	海 洋 生 物・4	167	58	犬 山 南	愛知
艇 長	坂 本 紘一郎	水 産・2	173	70	済 々 譽	熊本
1	藤 林 健 太	水 産・2	180	100	高 松 西	香川
2	宮 崎 礼	水 産・2	180	80	中 村	高知
3	大 川 文 秀	水 産・2	173	65	近大付属新	宮三
4	石 本 文 彦	水 産・3	165	75	熊 毛 南	山口
5	中 島 兼太郎	海洋資源増殖・3	165	59	宇和島南	愛媛
6	飯 干 雅 文	漁業航海学・3	168	70	高 千 穂	宮崎
7	原 規 真	水 産・3	168	59	倉敷天城	岡山
8	河 野 真 一	水 産・2	173	65	東 福 岡	福岡
9	桧 山 盛 生	海洋資源増殖・3	168	65	安 古 市	広島
10	山 本 貴 行	水 産・2	162	52	三 原 東	広島
11	村 上 俊 介	水 産・2	172	60	尾 道 東	広島
12						
補 欠						
補 欠						
補 欠						
補 欠						

平均 170.3 67.5

神 奈 川 歯 科 大 学

顧問：湯 山 徳 行

	氏 名	学 科・学 年	身 長	体 重	出 身 校	出身地
主 将	松 井 幸 一	6	178	85	芦 屋 南	大阪
主 務	加 藤 洋 一	4	170	75	生 田	神奈川
艇指揮	明 石 大 介	6	175	80	芦 屋 南	大阪
艇 長	大 畠 薫	4	160		鹿 島	茨城
1	寄 藤 浩 太	2	175	75	作 新 学 院	栃木
2	大 橋 徹	3	175	80	逗 葉	神奈川
3	角 田 順 弥	3	168	60	長 野	長野
4	松 本 昌 直	6	170	80	帝 京	東京
5	樋 口 一 敏	4	175	70	日 大 三 高	神奈川
6	柴 田 武 士	6	180	75	藤 枝 東	静岡
7	村 本 創	6	175	85	栃 木	栃木
8	松 井 幸 一	6	178	85	芦 屋 南	大阪
9	斉 田 勲	6	165	70	大 津	神奈川
10	田 中 雄一郎	3	175	70	聖 光	愛知
11	富士田 謙 介	6	170	65	神 戸	大阪
12	加 藤 洋 一	4	170	75	生 田	神奈川
補 欠	田 中 隆 之	6	160	75	桐 蔭 学 園	神奈川
補 欠	小 林 恵	6	160		奈 良	奈良
補 欠						
補 欠						

平均 170.7 74.6

水産大学校

顧問：下川伸也

	氏名	学科・学年	身長	体重	出身校	出身地
主将	仁井谷 真	漁業・3	169	68	英数学館	広島
主務	川村 信博	製造・3	177	65	長崎水産	長崎
艇指揮	北脇 隆太郎	機械・2	176	75	宝塚東	兵庫
艇長	前田 直忠	管理・2	165	60	山口水産	山口
1	赤田 芳裕	機関・3	170	60	直方	福岡
2	星野 牧人	食品・2	175	55	宝塚西	兵庫
3	菅野 真一	機関・3	162	58	泉	宮城
4	谷内 正尚	漁業・3	175	68	大手前	香川
5	仁井谷 真	漁業・3	169	68	英数学館	広島
6	川村 信博	製造・3	177	65	長崎水産	長崎
7	鴻上 真太郎	機関・3	181	77	新居浜	愛媛
8	牧野 公精	機関・3	182	83	大分	大分
9	村上 智也	漁業・3	183	77	育英	兵庫
10	松尾 豪貴	機関・3	174	75	口加	長崎
11	新谷 勇	機関・3	162	58	函館水産	北海道
12	新留 智幸	機関・3	173	69	高専	鹿児島
補欠	河野 智子	増殖・3			基町	広島
補欠	榎 有紀子	増殖・3			山形西	山形
補欠	木皿 祐介	管理・2	171	75	仙台第一	宮城
補欠	柳 澤 聡	機械・2	161	54	筑前	福岡

平均 172.3 67.3

東海大学

顧問：花房元顕

	氏名	学科・学年	身長	体重	出身校	出身地
主将	作森 太志	水産増殖・4	170	65	東海大学第二	熊本
主務	小坂 吉彦	航海工学・4	165	65	氷取沢	神奈川
艇指揮	渡辺 健太郎	海洋土木・4	172	63	福山誠之館	広島
艇長	小坂 吉彦	航海工学・4	165	65	氷取沢	神奈川
1	依田 康男	海洋科学・2	178	79	浦和市立	埼玉
2	斉藤 学	海洋工学・3	170	78	大泉	広島
3	成田 慎	海洋土木・3	172	70	東宇治	京都
4	宮本 日本	水産増殖・3	176	77	宇和島南	愛媛
5	吉田 和	海洋工学・2	169	75	札幌光星	北海道
6	内山 聡	船舶工学・3	180	66	浜松南	静岡
7	杉浦 豊和	水産増殖・4	166	67	岡崎城西	愛知
8	天沼 良祐	海洋土木・3	170	63	東京学館浦安	千葉
9	作森 太志	水産増殖・4	170	65	東海大学第二	熊本
10	西尾 岳	航海工学・3	172	66	広尾	埼玉
11	星野 智治	水産開発・3	165	70	東海大学第四	北海道
12	伊藤 隼弥	海洋土木・3	172	65	南	神奈川
補欠	大島 英路	海洋工学・2	171	67	春日井南	愛知
補欠	高橋 弘一郎	水産開発・2	164	56	洛西	京都
補欠	清水 俊明	海洋科学・2	167	55	松山	埼玉
補欠	水谷 友哉	海洋工学・2	175	72	市立銚子	千葉

平均 170.8 67.7

東京商船大学

顧問：庄 司 邦 昭

	氏 名	学 科・学 年	身 長	体 重	出 身 校	出身地
主 将						
主 務						
艇指揮	今 野 寛太郎				都 立 大 泉	
艇 長	山 田 航 洋				帝 京	
1	森 田 容 司				都 立 永 福	
2	藤 勝 利				太 田 第 一	
3	西 岡 武 男					
4	高 橋 泰 典				八 戸 北	
5	安 岡 茂 雄				清 教 学 園	
6	川 又 祐 介				都 立 秋 川	
7	南 克 典				長 田	
8	村 田 賢 造				清 風	
9	山 口 伸 行				宮 崎 南	
10	内 野 昌 幸				道 立 大 麻	
11	中 村 直 哉				木 更 津	
12	武 田 悠 志				延 岡	
補 欠	高 橋 昌 也				羽 水	
補 欠						
補 欠						
補 欠						

平均

東京水産大学

顧問：柿 原 利 治

	氏 名	学 科・学 年	身 長	体 重	出 身 校	出身地
主 将	愛 野 修 治	資 源 育 成 ・ 4	1 7 2	6 9	清 水 南	静 岡
主 務	八 木 竜 太郎	食 品 生 産 ・ 4	1 6 8	6 0	柏 中 央	千 葉
艇指揮	八 木 竜 太郎	食 品 生 産 ・ 4	1 6 8	6 0	柏 中 央	千 葉
艇 長	田 辺 義 博	海 洋 生 産 ・ 4	1 7 3	7 4	士 気	千 葉
1	喜 多 野 昭 文	海 洋 生 産 ・ 4	1 6 7	7 3	東邦大付属東邦	千 葉
2	篠 田 昭 雄	資 源 管 理 ・ 3	1 7 3	7 6	佼 成 学 園	東 京
3	島 崎 克 良	海 洋 生 産 ・ 2	1 7 4	6 9	広 尾	東 京
4	愛 野 修 治	資 源 育 成 ・ 4	1 7 2	6 9	清 水 南	静 岡
5	横 山 錦 也	資 源 管 理 ・ 4	1 8 0	8 1	朝 霞	埼 玉
6	佐 藤 浩 平	海 洋 生 産 ・ 2	1 7 8	7 1	横 浜 日 野	神 奈 川
7	清 宮 智 則	海 洋 環 境 ・ 3	1 7 4	8 3	大 宮 北	埼 玉
8	丸 山 智 亮	食 品 生 産 ・ 4	1 7 4	6 8	八 尾	富 山
9	細 見 昌 平	海 洋 生 産 ・ 3	1 6 9	6 2	検 見 川	千 葉
10	日 野 利 彦	資 源 管 理 ・ 3	1 6 8	7 3	日 根 野	大 阪
11	松 井 幹 登	資 源 育 成 ・ 3	1 6 8	6 0	上 田	長 野
12	滝 祐 介	食 品 生 産 ・ 4	1 6 9	7 7	国学院大学栃木	東 京
補 欠	石 川 琢 郎	海 洋 生 産 ・ 2	1 7 3	6 4	錦 城 学 園	東 京
補 欠	松 本 寛 史	海 洋 環 境 ・ 2	1 8 0	7 9	専修大学松戸	千 葉
補 欠	嶋 志 田 学	海 洋 生 産 ・ 2	1 7 0	6 7	焼 津 水 産	静 岡
補 欠	川 上 健 幸	海 洋 環 境 ・ 2	1 7 7	7 2	長 岡	新 潟

平均

172.6 71.0

長崎大学

顧問：高山久明

	氏名	学科・学年	身長	体重	出身校	出身地
主将	磯本英俊	海洋資源生産・3	172	73	佐世保南	長崎
主務	足立達生	海洋資源生産・3	174	63	川西北陵	兵庫
艇指揮	田川健三郎	海洋応用生物・3	167	56	諫早	長崎
艇長	平坂勝也	海洋資源生産・3	166	63	島原	長崎
1	水田徹	海洋応用生物・2	200	64	明石西	兵庫
2	磯本英俊	海洋資源生産・3	172	73	佐世保南	長崎
3	今池康平	海洋応用生物・4	178	78	福大大濠	福岡
4	岡田健太郎	海洋応用生物・2	170	70	城東	徳島
5	樫山和宏	海洋生物・2	177	68	佐世保北	長崎
6	西村諭	海洋応用生物・2	170	80	佐世保北	長崎
7	塚山健一	海洋応用生物・3	166	65	津西	三重
8	足立龍男	海洋資源生産・3	174	63	川西北陵	兵庫
9	松永拓	海洋資源生産・4	171	62	玉龍	鹿児島
10	山口泰永	海洋応用生物・4	170	55	福山明王台	広島
11	沖野亮一	海洋生物・2	176	64	高知西	高知
12	岡松一樹	海洋生物・2	157	55	大分豊府	大分
補欠	笠原俊明	海洋資源生産・4	175	73	倉敷南	岡山
補欠						
補欠						
補欠						

平均 172.6 65.9

日本大学

顧問：平栗洋一

	氏名	学科・学年	身長	体重	出身校	出身地
主将	勝部善之	食品工・3	174	72	城西川越	東京
主務	戸田秀人	食品経済・4	170	62	上尾	埼玉
艇指揮	戸田秀人	食品経済・4	170	62	上尾	埼玉
艇長	広木俊介	応用生物・4	174	64	日大三	神奈川
1	堀伸明	森林・2	169	71	熊谷西	埼玉
2	勝部善之	食品工・3	174	72	城西川越	東京
3	塩入和征	農芸化学・4	179	62	長野日大	長野
4	砂永俊介	農芸化学・3	177	70	松山	埼玉
5	加藤宏利	植物資源・3	170	60	国分寺	東京
6	飯田典明	生物環境工・3	169	65	松本第一	長野
7	原田修治	森林・3	175	68	新城東	愛知
8	前田直哉	応用生物・4	179	71	日大習志野	千葉
9	橋本耕輔	海洋資源・2	168	65	本巢	岐阜
10	岩佐尚治	応用生物・3	172	63	名西	徳島
11	塚原崇	動物資源・3	167	54	大和西	神奈川
12	沼田圭右	国際地域開発・3	172	65	日大豊山	東京
補欠						
補欠						
補欠						
補欠						

平均 172.3 66.9

防衛大学校

顧問：昌子隆廣

	氏名	学科・学年	身長	体重	出身校	出身地
主将	池田剛敏	管 理・3	168	62	青雲	福岡
主務	柳原秀洋	管 理・3	171	68	宇和島	愛媛
艇指揮	池田剛敏	管 理・3	168	62	青雲	福岡
艇長	嵩原光彦	通信工学・3	171	62	沖縄尚学	沖縄
1	半崎誠	機械工学・3	173	73	永田	兵庫
2	平岡考介	機械工学・2	169	67	明善	福岡
3	東海林希亜	精密機械工学・3	170	64	種子島	鹿児島
4	吉留誠志郎	電子工学・3	172	67	加治木	鹿児島
5	久保川守	機械工学・2	175	67	鹿島	佐賀
6	川向淳一	数学物理学・2	175	70	田名部	青森
7	小野木公一	応用物理学・3	178	75	四日市	三重
8	小林貴行	航空宇宙工学・3	173	68	石巻	宮城
9	川合真太郎	国際関係論・3	174	68	前橋	群馬
10	井戸康裕	機械システム工学・2	168	62	佐世保	長崎
11	永野雄三	情報工学・3	169	61	大濠	福岡
12	山中憲	機械システム工学・2	169	58	安古市	広島
補欠	坂口誠	土木工学・3	180	74	小林	宮崎
補欠	栗田高光	材料物性工学・2	171	67	萩	山口
補欠	宇都木英雄	電子工学・3	175	72	栃木	栃木
補欠	安永隆一	通信工学・2	167	67	米子	東京

平均 172.3 66.9

三重大大学

顧問：関口秀夫

	氏名	学科・学年	身長	体重	出身校	出身地
主将	村越聡洋	生物資源・3	164	59	岡崎西	愛知
主務	山田泰平	工・機械・3	180	73	常滑北	愛知
艇指揮	中谷豊	工・分子素材・4	185	70	泉陽	大阪
艇長	山口一盛	工・分子素材・4	182	70	富田林	大阪
1	山田泰平	工・機械・3	180	73	常滑北	愛知
2	谷村考春	工・電気電子・3	180	70	兵庫	兵庫
3	高橋望	生物資源・2	179	65	河内南	大阪
4	長谷川篤	生物資源・2	177	60	名東	愛知
5	伴旭	工・電気電子・3	178	58	岡崎西	愛知
6	山本裕信	工・機械・3	173	60	豊田西	愛知
7	池上宗和	工・電気電子・2	172	63	星陵	兵庫
8	古桐昌樹	工・情報・2	178	65	長良	岐阜
9	大崎聡	工・機械・2	175	63	鳳	大阪
10	藤井敬士	生物資源・3	173	60	蒲郡東	愛知
11	村越聡洋	生物資源・3	164	59	岡崎西	愛知
12	高橋直樹	生物資源・2	171	56	国府	愛知
補欠	鈴木雅裕	人 文・2	170	60	刈谷	愛知
補欠	熊本敦子	生物資源・2	163		小郡	福岡
補欠	野口二佐乃	人 文・2	160		成東	千葉
補欠	山口努	生物資源・4	175	60	向陽	愛知

平均 174.2 63.3

神戸商船大学

顧問：古 莊 雅 生

	氏 名	学 科・学 年	身 長	体 重	出 身 校	出身地
主 将	多 田 健 作	機 関 ・ 4	1 7 3	6 3	姫 路 飾 西	兵 庫
主 務	長 澤 一 輝	航 海 ・ 4	1 6 5	5 7	篠 山 鳳 鳴	兵 庫
艇指揮	多 田 健 作	機 関 ・ 4	1 7 3	6 3	姫 路 飾 西	兵 庫
艇 長	長 澤 一 輝	航 海 ・ 4	1 6 5	5 7	篠 山 鳳 鳴	兵 庫
1	長 尾 幸 弘	海 洋 ・ 4	1 6 6	7 0	須 磨 東	兵 庫
2	磯 貝 正 幸	海 洋 ・ 4	1 7 2	6 2	碧 南	愛 知
3	児 玉 正 徳	航 海 ・ 2	1 7 5	6 5	早 実 高	埼 玉
4	柳 原 祐 一 郎	航 海 ・ 4	1 6 8	5 6	半 田 東	愛 知
5	前 田 環	機 関 ・ 3	1 6 5	6 4	入 善	富 山
6	倉 橋 誠 之	機 関 ・ 4	1 6 0	5 9	岡 崎 東	愛 知
7	澤 居 誠 高	航 海 ・ 3	1 7 3	6 5	金 光 学 園	岡 山
8	神 谷 悠 二	海 洋 ・ 4	1 7 0	7 4	安 城 東	愛 知
9	片 山 智 彦	海 洋 ・ 3	1 6 4	6 1	山 崎	兵 庫
10	沓 名 弘 二	航 海 ・ 2	1 6 2	6 2	小 牧 南	愛 知
11	内 田 幸 一	航 海 ・ 4	1 6 7	5 5	宝 塚 東	兵 庫
12	池 田 武 志	海 洋 ・ 3	1 6 8	5 8	東 寝 屋 川	大 阪
補 欠	前 田 力	航 海 ・ 3	1 7 6	8 4	卷	新 潟
補 欠	甲 功 二 郎	機 関 ・ 2	1 8 1	6 4	近大付属和歌山	和歌山
補 欠	伊 達 祐 史	機 関 ・ 2	1 6 3	6 2	江 戸 川	東 京
補 欠						

平均

168.7 63.6

クルー名簿 (女子)

東海大学

顧問：花房元顕

	氏名	学科・学年	身長	出身校	出身地
艇指揮	阿部久美子	水産 4	154	日本橋女学院	千葉
艇長	水澤しのぶ	航海工 4	163	共立女子	東京
1	水谷まどか	航海工 2	151	春日井南	愛知
2	中野美由紀	海洋資源 3	165	下館第二	茨城
3	笹島由季	水産 3	165	水城	茨城
4	水永美鈴	水産 2	164	日彰館	広島
5	榎園智子	水産 2	152	弥栄東	神奈川
6	小池千絵	水産 3	160	東海大学甲府	山梨
補欠	山根奈緒	海洋科学 2	158	那覇	沖縄
補欠	大山敦子	海洋科学 2	160	沖縄尚学院	沖縄
補欠	林由美子	水産 2	160	高岡第一	富山

平均 159.3

三重大学

顧問：関口秀夫

	氏名	学科・学年	身長	出身校	出身地
艇指揮	谷村考春	工・電気電子・3	180	兵庫庫	兵庫
艇長	村越聡洋	生物資源・3	164	岡崎西	愛知
1	秋谷友理	生物資源・3	162	天王寺	大阪
2	今田泰子	生物資源・3	162	岡崎	愛知
3	熊本敦子	生物資源・2	163	小郡	福岡
4	加藤智子	人文 3	156	宇治山田	三重
5	松岡美枝子	教 育 2	155		三重
6	川瀬房代	人 文 2	156	大野	福井
補欠	野口二佐乃	人 文 2	160	成東	千葉
補欠	伊藤晴	教 育 2	160		三重
補欠					

平均 161.8

神戸商船大学

顧問：古庄雅生

	氏名	学科・学年	身長	出身校	出身地
艇指揮	大山志穂美	航海・4	162	大島	鹿児島
艇長	鈴木千尋	航海・4	158	澁川女子	群馬
1	美濃村綾子	航海・4	163	西宮北	兵庫
2	安井朋子	航海・4	171	御影	兵庫
3	吉藤夏紀	航海・4	157	大教大付天王寺	兵庫
4	大江弘美	機関・4	158	対馬	長崎
5	綾部優子	航海・3	164		長崎
6	加藤由季	航海・3	156	天白	愛知
補欠	堀田祐子	航海・2	162	可児	岐阜
補欠	蒲池愛子	機関・2	157	星陵	兵庫
補欠	中澄広実	航海・2	163	兵庫庫	兵庫
補欠	道場加奈子	航海・2	160	櫃原	奈良

平均 160.9

レースの手引

本大会に使用される艇は長さ9m12人漕ぎのカッターである。救命艇として使用されるものであるが、一般のそれは艀艇同型であるのに対し、艀を切落として外観は普通の舟艇と変わらない。艇はF. R. P製で、オール12本（各々長さ約4.3m、握りの直径7.5cm、重さ8ないし9kgである）マスト、セール等の艀装品を備え帆走も可能である。漕手はCrewと呼ばれ、艇首側から右舷側の者が1番、同じく左舷側の者が2番、以下艇尾に向かって交互に3・4～11・12番と続き、1・2番をBowmen、11・12番をStrokemenと称している。Strokemenは撓漕のピッチを加減する任務を持つ。艇尾で舵を握るのが艇長で号令をかけ指揮するのが艇指揮である。艇指揮は艇のすべての指揮を行ない船長に相当する。

レース距離は折返し2,000mの直線コースで行う。各艇の艇首が一直線に並んだ時、号砲の信号をもってスタートし、スタートラインより1,000mの所に設置された各コースごとの回頭旗を、艇をこれに接触させずに左回り（反時計回り）に回頭して帰ってくる。即ちスタートラインがそのままゴールラインでゴールは艇首がゴールラインに達した時とする。予選は各グループ4または5チームで実施する。

各グループの優勝チームおよび敗者復活戦で1位および2位となった計5チームによって最後に優勝戦が行われる。レースはいずれも時間的ずれによる海況の変化等の影響のためにタイムレースでなく着順位である。ピッチ（1分間に漕ぐ回数）は大体30前後であるが、各チームとも漕法の研究を重ねているので必ずしも一定ではなく、それぞれ特色のある漕法によるピッチを持っている。レース所要時間は10分余りであるが、しかし救命艇という性質上、いかなる荒海でもレースは行われ、そのような場合には30分にも及ぶことがある。カッターレースは10分余の間、一瞬といえども息を抜くことを許されず、しかもクルー全員の呼吸が完全に一致しなければならない。カッターレースは、ピッチをいくらに定めるか、スタートダッシュ、回頭、ラストスパートの巧拙、風浪、海潮流の対策、利用の巧拙等が見所であり、シーマンシップを完全に身につけた者が初めて克服できる実技を兼ねた、最も豪快な海のスポーツである。

祝

第42回

全日本カッター競技大会

深 江 艇 友 会

（神戸商船大学端艇部OB会）

会長 野々村 雅典（4N）

第42回全日本カッター競技大会 競技規則

1. 使用艇の決定

予選に使用する艇、及びコースは、レース前日に各々抽選によって決定し、順位決定、敗者復活、及び決勝レースに使用する艇、コースは、当日の抽選により決定する。オールは、原則として艇に備えているものとする。

2. 艇員

艇員は、艇指揮、艇長、漕手12、補欠2、計16名とする。なお補欠は、全レースを通して2名とし、レース中の交代も自由とする。

3. 使用艇搭載物品

使用艇は、所定の物品を搭載するものとする。

4. 出場艇の標識

各出場艇は当該校の標識を艇尾旗竿に掲揚する。ただし、スタート後はこの限りではない。

5. 発進要領

(1) 発進はトグル発進要領に従って行う。

(2) 発動は定刻に行い、原則として変更しない。ただし、ブイ修正のため、審判長は発動時刻を遅らせることができる。

(3) 艇員の不注意に起因する発進の遅滞等については、これを考慮しない。

6. 漕走中の規則、および注意

(1) 各艇、定められた自己のコースを漕走するものとし、もし誤って他の艇に接触、その他不正行為があったと審判長が認めたときは、失格とする。

(2) 各艇は、原則として完走するものとし、途中の棄権は認めない。スタートの号砲前に飛び出した艇も完走しなければならない。

ただし、自艇の故障およびこれに類する場合を除く。

(3) 互いにコースの端を航行して、接触の恐れがある場合には、後航艇が先攻艇の針路を避けるものとする。

(4) レース中のコースにおける障害は、他艇の不正な接触を除くほか、各艇自らこれを忍ぶべきものとする。

e x. 風潮、他船の引き波、漂流物 等

※自艇の故障・・・航行することができないと審判員が認める故障

7. 回頭要領

回頭は左回頭（反時計回り）とする。回頭は指定の回頭旗を回頭するものとし、他の回頭旗を回頭した場合及び回頭旗、回頭ブイに艇の一部、または、オールの一部でも接触した場合には、失格とする。

8. ゴール

(1) 艇首が規定のゴールラインに入った順序を以て順位とし審判する。

(2) 同着の場合は追い込み艇の勝ちとし、追い込み艇の判定の困難な場合は、回頭旗を遅れて回頭終了（回頭を終わって船首をゴールラインに向首した時期）した艇を追い込み艇とする。以上により判定方法でも、判定が困難な場合には同着とし、次位を空位とする。

(3) オールを流したままゴールしても失格としない。

9. 失格事項

次の各項に該当する行為で、審判長が判定した場合は失格とする。

ただし、本審判規定における失格とは当該レースのみに関するものであり、その成績は当該レースの最下位とみなす。

(1) 審判長、もしくは審判員の指示、または注意に従わなかった場合。

(2) (イ) 「各艇その位置」の合図により、かい上げを行ってから、発動までにオールを海面につける行為、またはトグルを放す行為ないしトグルを持つものが海中に落ちた場合。

(ロ) 「各艇その位置」の合図までにトグルを保持しない場合。

(3) 他のコースに進入して、他艇と接触し、または他艇の進路を妨害した場合。

(4) 回頭旗、回頭の方向を間違った場合。

(5) 回頭の際、回頭旗、またはブイに艇、またはオールの一部でも接触した場合。

(6) 規定の搭載物品を搭載することなく、競技に出場した場合。

(7) オールを除く規定の搭載物品を流失し、これを揚収することなく競技を続行した場合。

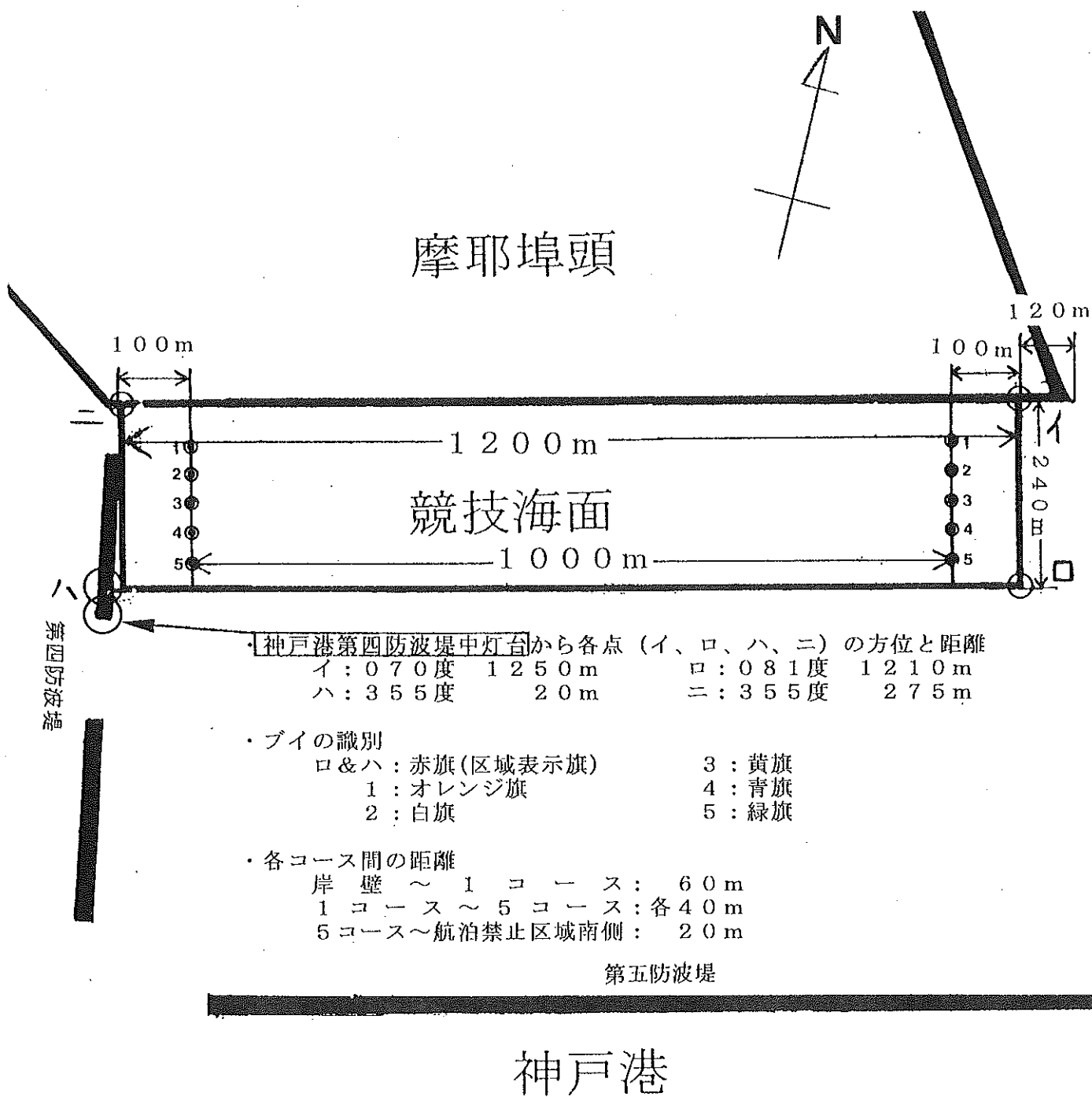
(8) その他、不正行為があった場合。ただし、失格行為が不可抗力によるものと審判長が認めた場合はこの限りではない。

10. 異議申立

(1) 各艇の艇指揮は、発動までに、主催者側に起因し、競技に支障ある不備について、赤旗を掲げたのち審判員に異議申立をすることができる。

(2) 競技に関する異議申立等は、艇指揮が審判員に対して速やかにこれを行うものとし、審判長がこれを裁決する。

第42回 全日本カッター競技大会 競技海域 区域図



レース概要: 男子 5コース 1000m 左回頭 折り返し 2000m
: 女子 3コース 1000m 直線 回頭・折り返しなし

過去の成績

優勝タイム ベスト5

1	海保大	10-13.2	第21回
2	神戸商船大	10-23.0	第8回
3	海保大	10-34.3	第10回
4	防衛大	10-50.2	第12回
5	防衛大	10-53.6	第27回

優勝回数	東京水産大	10回
	防衛大	10回
	海保大	7回
	神戸商船大	5回

(注) 第1回～第2回は1海里レース
第3回以降は、2000mレース

回	年月日	場所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1	32. 6. 23	東京	東京水産大	東京商船大	神戸商船大	防衛大	水産大	海保大	鹿児島大	三重大					
2	33. 6. 25	神戸	東京水産大	水産大	東京商船大	防衛大	神戸商船大	海保大	鹿児島大	長崎大	三重大	海技大			
3	34. 6. 7	呉	水産大	海保大	東京水産大	防衛大	東京商船大	神戸商船大	三重大	幹校校	海技大	長崎大	鹿児島大		
4	35. 6. 5	横須賀	神戸商船大	水産大	海保大	防衛大	東京水産大	三重大	東京商船大	鹿児島大	長崎大	日本大			
5	36. 5. 28	神戸	東京水産大	水産大	三重大	海保大	神戸商船大	鹿児島大	東京商船大	防衛大	長崎大	日本大	海技大		
6	37. 5. 27	館山	東京商船大	防衛大	水産大	三重大	東京水産大	神戸商船大	長崎大	海保大	鹿児島大	日本大			
7	38. 5. 19	呉	東京水産大	海保大	神戸商船大	三重大	防衛大	東京商船大	水産大	長崎大	日本大	鹿児島大	海技大		
8	39. 5. 10	館山	神戸商船大	海保大	東京商船大	防衛大	三重大	東京水産大	鹿児島大	水産大	長崎大	海技大	日本大		
9	40. 5. 16	神戸	神戸商船大	防衛大	水産大	海保大	東京水産大	鹿児島大	三重大	東京商船大	長崎大	日本大	海技大		
10	41. 5. 15	三笠沖	海保大	防衛大	三重大	日本大	東京水産大	水産大	東京商船大	東京商船大	鹿児島大	長崎大	海技大		
11	42. 6. 14	呉	防衛大	海保大	三重大	東京商船大	神戸商船大	鹿児島大	水産大	長崎大	東京水産大	日本大	海技大		
12	43. 5. 19	館山	防衛大	神戸商船大	海保大	東京商船大	鹿児島大	三重大	長崎大	日本大	水産大	海技大			
13	44. 5. 23	呉	防衛大	東京商船大	海保大	三重大	長崎大	鹿児島大	海技大	神戸商船大					
14	45. 5. 17	富津	防衛大	長崎大	海保大	日本大	東京商船大	鹿児島大	水産大	東京水産大	海技大	神戸商船大	三重大	電通大	
15	46. 5. 16	西宮沖	防衛大	神戸商船大	鹿児島大	長崎大	東京商船大	日本大	東京水産大	水産大	海保大	三重大	海技大	神奈川商大	
16	47. 5. 21	馬堀	防衛大	海保大	神戸商船大	鹿児島大	三重大	長崎大	東京水産大	水産大	東京商船大	日本大	海技大	電通大	神奈川商大
17	48. 5. 26	呉	海保大	東京水産大	東京商船大	長崎大	水産大	三重大	神戸商船大	防衛大	鹿児島大	日本大	海技大		
18	49. 5. 19	館山	長崎大	海保大	水産大	神戸商船大	防衛大	東京水産大	鹿児島大	東京商船大	三重大	日本大	海技大	電通大	神奈川商大
19	50. 5. 18	豊浦	神戸商船大	防衛大	東京水産大	海保大	長崎大	鹿児島大	日本大	水産大	海技大	神奈川商大	三重大		

- 18 -

回	年月日	場所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
20	51. 5. 16	芦屋沖	神戸商船大	長崎大	東京水産大	海保大	鹿児島大	日本大	水産大	三重大	防衛大	東京商船大	神奈川商大	電通大	海技大	
21	52. 5. 29	馬堀	海保大	東京水産大	防衛大	鹿児島大	水産大	長崎大	東京水産大	東京商船大	海保大	三重大	日本大	神奈川商大	電通大	海技大
22	53. 5. 21	呉	海保大	水産大	神戸商船大	防衛大	長崎大	東京水産大	鹿児島大	三重大	海技大	東京商船大	海保大	神奈川商大	電通大	
23	54. 5. 20	江田島	長崎大	神戸商船大	防衛大	海保大	東京水産大	東京商船大	水産大	防衛大	神戸商船大	海保大	鹿児島大	神奈川商大	電通大	日本大
24	55. 5. 18	芦屋沖	東京水産大	鹿児島大	水産大	長崎大	海保大	東京商船大	日本大	防衛大	神戸商船大	海保大	東京商船大	海技大	電通大	
25	56. 5. 31	馬堀	東京水産大	日本大	神戸商船大	防衛大	水産大	鹿児島大	東京商船大	長崎大	海保大	東京商船大	三重大	海技大	電通大	
26	57. 5. 17	呉	海保大	東京水産大	防衛大	東京商船大	鹿児島大	神戸商船大	水産大	日本大	長崎大	東京商船大	海保大	神奈川商大	電通大	
27	58. 5. 29	馬堀	防衛大	東京商船大	海保大	神戸商船大	日本大	鹿児島大	長崎大	東京水産大	三重大	水産大	海技大	東京商船大	神奈川商大	
28	59. 5. 20	芦屋沖	東京水産大	防衛大	東京商船大	水産大	鹿児島大	三重大	海保大	日本大	長崎大	神戸商船大	東京商船大	海技大	電通大	神奈川商大
29	60. 5. 19	東京	東京水産大	防衛大	鹿児島大	水産大	鹿児島大	日本大	三重大	神戸商船大	長崎大	海技大	神奈川商大	電通大	東京商船大	
30	61. 5. 18	呉	水産大	防衛大	東京水産大	東京商船大	鹿児島大	海保大	三重大	長崎大	日本大	神戸商船大	海技大	東京商船大	神奈川商大	電通大
31	62. 5. 17	伊勢町	防衛大	神戸商船大	東京水産大	水産大	東京商船大	鹿児島大	三重大	海保大	日本大	東京商船大	長崎大	神奈川商大	海技大	電通大
32	63. 5. 17	芦屋沖	東京水産大	鹿児島大	海保大	神戸商船大	東京商船大	東京商船大	水産大	日本大	三重大	防衛大	長崎大	神奈川商大	海技大	電通大
33	1. 5. 21	呉	鹿児島大	東京水産大	神戸商船大	防衛大	東京商船大	日本大	海保大	長崎大	東京商船大	三重大	東京商船大	電通大	海技大	
34	2. 5. 13	東京	東京水産大	海保大	東京商船大	防衛大	水産大	長崎大	東京商船大	海保大	鹿児島大	日本大	海技大	三重大	電通大	
35	3. 5. 19	呉	鹿児島大	防衛大	東京水産大	神戸商船大	東京商船大	東京水産大	日本大	長崎大	鹿児島大	神奈川商大	東京商船大	三重大	電通大	
36	4. 5. 17	伊勢町	海保大	防衛大	東京商船大	水産大	東京水産大	東京水産大	日本大	長崎大	神奈川商大	長崎大	東京商船大	三重大	海技大	
37	5. 5. 30	六甲工	防衛大	東京商船大	水産大	海保大	神戸商船大	東京水産大	日本大	長崎大	神奈川商大	長崎大	東京商船大	三重大	海技大	
38	6. 5. 21	呉	海保大	水産大	日本大	東京商船大	鹿児島大	長崎大	神戸商船大	防衛大	東京水産大	三重大	東京商船大	海技大	神奈川商大	
39	7. 5. 20	伊勢町	水産大	防衛大	神戸商船大	東京水産大	日本大	東京商船大	長崎大	三重大	鹿児島大	海保大	東京商船大	神奈川商大	海技大	
40	8. 5. 18	呉	防衛大	長崎大	東京水産大	水産大	東京商船大	鹿児島大	日本大	海保大	神戸商船大	三重大	東京商船大	神奈川商大	海技大	
41	9. 5. 17	横須賀	日本大	水産大	海保大	東京水産大	防衛大	東京商船大	東京商船大	海保大	神戸商船大	長崎大	鹿児島大	三重大	神奈川商大	